

令和6年度

事業概要

Business Overview

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER



愛知県赤十字血液センター

日本赤十字社

ごあいさつ



愛知県の血液事業につきましては、平素より県民の皆さまをはじめ、愛知県、市町村、各献血協力団体および医療機関など関係各位のご支援とご協力に対して厚く御礼申し上げます。このたび、愛知県赤十字血液センターの2024(令和6)年度事業概要を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

当年度の愛知県内の献血につきましては290,975人の方々にご協力をいただきました。県民の皆さまの献血へのご理解とご協力、そして各種団体の皆さまのご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

しかしながら、少子高齢化の進行や若年層の献血離れといった社会的背景に加え、企業や学校における団体献血の実施において、従来のような一斉協力が得られにくい状況が続いています。個人の生活の多様化や労働を取り巻く社会全体の環境変化の下、特に企業や学校側とのスケジュール調整や人員確保が難しくなっていることなどから、移動採血の実施件数や協力者数の回復には依然として課題が残っています。

固定施設においては、採血体制を強化し、広報活動や各種キャンペーンを通じた継続的な協力を呼びかけ続けた結果、協力者数は前年をやや上回り、移動採血と合算して、全体としては計画に近い水準の採血実績を確保することができました。また、血小板や血漿の成分献血についても、献血Web会員サービス「ラブラッド」や予約献血の活用にご賛同いただいた皆さまのご理解とご協力により、計画を上回る協力者数を得ることとなりました。

一方で、供給面では赤血球製剤の需要が引き続き増加傾向にあり、血漿製剤や血小板製剤も安定した供給が求められる中、県内での採血実績がその基盤を支えました。

今後も輸血用血液の安定供給を維持するためには、計画的な採血とともに、若年層を中心とした新たな献血協力者の確保が重要となります。

こうした背景を踏まえ、愛知県・市町村と連携した「10代夏のキャンペーン」や学生献血連盟によるイベント・SNSを活用した啓発活動、献血セミナーや施設見学等といった多様なアプローチを通じて、若い世代をはじめ県民の皆さまが献血に親しみをもち、参加しやすいような環境づくりを一層推進していく所存です。

愛知県赤十字血液センターでは、今後も皆さまの尊い善意を患者さまのもとにお届けできるよう、安心・安全で効率的な血液事業の運営に努めてまいります。引き続き皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025年8月

愛知県赤十字血液センター
所長 山本晃士

1 概要

Outline

- | | |
|------------|------------------------|
| 2 事業内容 | Main Activities |
| 3 血液事業のながれ | Flow of Blood Services |

2 血液センターの業務

Blood Center Operations

- | | |
|-----------|--|
| 4 採血・献血推進 | Blood Collection & Promoting Blood Donations |
| 5 献血推進 | Promoting Blood Donations |
| 6 広報トピックス | Public Relations |
| 8 供給 | Distribution |
| 9 医薬情報 | Medical Information |
| 10 施設 | Facilities |

3 組織

Organization

- | | |
|-----------------------|--|
| 12 組織機構図 | Organization Chart |
| 13 愛知県赤十字血液センター | Japanese Red Cross Aichi Blood Center |
| 13 愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所 | Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch |

4 活動実績

Actual Result

- | | |
|-----------|-------------|
| 14 沿革 | History |
| 18 献血功労表彰 | Recognition |

5 統計資料

Statistical Data

- | | |
|-------------------------|--|
| 20 献血種別の推移 | Blood Donation Type of Transition |
| 20 年代別の推移 | Transition by Age Group |
| 21 献血種別献血者数 | Blood Donation Type Number of Blood Donors |
| 21 年代別献血者数 | Blood Donations by Age Group |
| 22 献血ルーム&献血バス・オープン献血の割合 | Blood Donation Room & Bloodmobile Open Blood Donation Percentage |
| 22 施設別採血種別献血者数の推移 | Changes in the Number of Blood Donors by Site |
| 23 献血ルーム別献血者数 | Number of Blood Donors by Blood Donation Rooms |
| 24 献血ルーム別年代別献血者数 | Number of Blood Donors by Age Group |
| 25 供給状況 | Number of Distribution of Blood Products |
| 25 供給実績 | Supply Results |

1 概要

Outline

日本赤十字社が取り組む血液事業において、献血を推進し、輸血用血液の安定確保と供給などを行い、人命尊重に向けて多様な事業を展開しています。

血液を通して、人と人とを結んでいます

血液センターでは、現代医療に欠かせない輸血用血液製剤の供給をはじめ、血液に関するさまざまな事業を行っています。
血液を通して大切な命を守り、人と人とを結ぶ架け橋として日夜努めています。

事業内容 Main Activities

目的と基本理念 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（抜粋）（令和2年9月1日改正）

総則（目的） 第一条 この法律は、血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進のために必要な措置を講ずるとともに、人の血液の利用の適正及び献血者等の保護を図るために必要な規制を行うことにより、国民の保健衛生の向上に資することを目的とする。

- （基本理念）第三条 血液製剤は、その原料である血液の特性にかんがみ、その安全性の向上に常に配慮して、製造され、供給され、又は使用されなければならない。
- 血液製剤は、国内自給（国内で使用される血液製剤が原則として国内で行われる献血により得られた血液を原料として製造されることをいう。以下に同じ。）が、確保されることを基本とするとともに、安定的に供給されるようにしなければならない。
 - 血液製剤は、献血により得られる血液を原料とする貴重なものであること、及びその原料である血液の特性にかんがみ、適正に使用されなければならない。
 - 国、地方公共団体その他の関係者は、この法律に基づく施策の策定及び実施に当たっては、公正の確保及び透明性の向上が図られるよう努めなければならない。

業務

- ・献血者の確保及び献血の受入れ
- ・輸血用血液製剤の供給

関連事業

- ・骨髄バンク事業
- ・さい帯血バンク事業

血液事業のながれ Flow of Blood Services

献血いただいた血液は、血液を必要とする患者さんが安心して輸血を受けられるよう安全性確保のための検査を行った後、いくつかの工程を経て、輸血用血液製剤として生まれ変わります。
私たちは安全性の高い輸血用血液製剤を医療機関に安定供給するために、24時間体制で医療を支えています。



献血バス



2 血液センターの業務

Blood Center Operations

採血・献血推進 Blood Collection & Promoting Blood Donations

愛知県内では、献血バスやオープン採血による移動採血を通じて様々な場所で献血のご協力をお願いしています。また、駅周辺や商店街など、交通の便の良い場所には献血ルームを設け、快適で安心して献血いただける環境を整えています。

移動採血① 献血バス

平日は官公庁、企業、学校等の各種団体など、休日はショッピングモール等の商業施設やイベント会場など、献血バスは1年を通じて県内全域をほぼ休みなく巡回して各地域の皆さまに献血のご協力をいただいています。献血バスは瀬戸市と豊橋市を起点に毎日6～8台稼働し、1台(4ベッド)あたり健診医師1名、看護師3～4名、事務職員2～3名のチームを組んで採血業務に従事しています。



献血バス

移動採血② オープン献血

会議室や多目的スペースなどに、簡易ベッドと採血機材一式を運び込み、献血の受け入れを行っています。



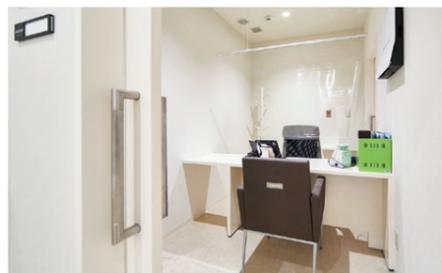
オープン献血

献血ルーム

愛知県内には9か所の献血ルーム(常設の献血会場)があります。都市部を中心に主要駅周辺や商店街、ショッピングモールなどに献血ルームを設け、快適に献血いただける環境を整えています。



受付(献血ルーム タワーズ20)



問診室(献血ルーム フォレスト)



採血室(献血ルーム ゲートタワー26)

献血推進 Promoting Blood Donations

献血 Web 会員サービス「ラブラッド」 Blood donation web membership service

医療機関へ安定的に血液を供給し、輸血を受けられる患者さんが安心して治療を受けられるよう、輸血用の血液を十分に確保する必要があります。かつて「複数回献血クラブ」として継続的に献血にご協力いただける登録者を募集してきましたが、2018(平成30)年、利用いただく方の利便性の向上を目的に「ラブラッド」へとリニューアルしました。

2022(令和4)年にはラブラッドアプリをリリースし、「アプリ版献血カード」や「事前 Web 問診 回答機能」の導入、「プレ会員」の登録等を開始しました。



愛知県の献血 Web 会員サービス「ラブラッド」登録状況

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規登録者	31,548人	32,311人	34,050人



会員になると

- 全国の献血会場(一部を除く)の Web やアプリでの予約が可能になります。
- ポイントを貯めて記念品と交換できます。
- 血液の検査結果等を含む献血記録が献血後数日で Web やアプリにて確認できます。(会員になられた方は検査結果通知はがきの発送を停止します。)
- 過去の献血記録が確認できます。(2005年4月以降)
- メールや LINE、プッシュ通知で会員限定のお知らせやご案内、献血の依頼等が届きます。(次回献血可能日、イベント、キャンペーン情報、「献血のお願い」など)
- 住所などの変更が Web やアプリ上で可能になります。

プレ会員とは

- 献血可能年齢未満でも、献血未経験でも登録できます。
- 献血可能年齢までのカウントダウンが表示されます。
- 献血に関するクイズに答えたり、コンテンツが閲覧できます。
- 献血可能年齢に到達すると初回献血の予約ができます。
- イベントやボランティア情報を検索し、応募いただくことができます。

献血のご予約のお願い

血液センターでは、有効期間のある輸血用血液を医療機関からの需要に応じて確保していくために、また、献血される方が一時期に集中することによる密集や密接を避けるため献血のご予約をお願いしています。

事前に予約をしていただくと...

献血される皆さまのため...

当日の受付がスムーズになり、待ち時間の短縮につながります。また、予約に合わせた時間帯で献血いただけるため、より快適にご協力いただけます。

輸血を受けられる患者さんのため...

どの血液型がどれくらいご協力いただけるかを把握できるため、必要な血液を安定的に確保し、患者さんに確実に届けることができます。

骨髄バンク事業 Marrow Donor Program

骨髄バンク事業は、国(=厚生労働省)主導のもと、日本骨髄バンクが主体となり、日本赤十字社及び地方自治体の協力により行われている公的事業です。日本骨髄バンクは骨髄移植・末梢血幹細胞移植のコーディネート等を行い、日本赤十字社は造血幹細胞提供支援機関として、全国の献血実施場所(献血ルームや献血バスなど)において骨髄バンクドナー登録希望者の受付及びHLA検査等を行っています。都道府県・保健所を設置する市・特別区は保健所を窓口として協力体制をとっています。



愛知県内の新規登録者数

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規登録者	806人	1,339人	1,336人

愛知県内の登録者数の推移



ひとりでも多くの方に、献血が身近になるように

血液センターでは、広く献血にご協力いただくことと、血液事業について多くの人にご理解いただくことを目的に、さまざまな広報活動を展開しています。



広報トピックス Public Relations

施設見学

学校をはじめとした団体による施設見学の受け入れを行っています。見学では、普段目にする機会の少ない輸血用血液製剤の製造工程をご覧いただけるほか、献血された血液が病院に届けられるまでの流れについて学ぶことができます。血液事業の役割や重要性を理解していただく貴重な機会として、多くの方にご参加いただいています。



献血セミナー

青少年を対象に、身近にできる献血を通じて、病気やけがで輸血を必要とする方々のいのちや健康を手助けできることの大切さを伝えるセミナーを実施しています。



年少者を対象とした普及啓発

幼少期から献血に親しみをもちてもらうことを目的に、「献血は身近なボランティア」であることを伝える普及啓発活動を行っています。県内2か所の日赤病院祭では、献血疑似体験「まねっこ献血」を実施し、多くの親子に楽しんでいただきました。また、ショッピングモールなどのイベント会場では、親子で参加できる「献血クイズ」や、献血キャラクター「けんけつちゃん」とのふれあいを通じて、血液や輸血の大切さについて楽しく学べる機会を提供しています。



職場体験

中高生を対象とした職場体験では、看護師業務に加え、献血者を確保するための企画立案や、街頭献血での呼びかけ活動などを通じて、献血の意義や現状について理解を深めていただきました。実際の業務に触れることで、医療や献血に対する関心を高めるとともに、社会貢献の大切さを学ぶ機会となっています。



夏休み親子血液教室 2024

愛知県との共催により開催した「夏休み親子血液教室」は、小学校4～6年生とその保護者を対象に、親子で命や健康、助け合いの大切さについて考え、献血の必要性を学ぶことを目的としています。瀬戸市の血液センターおよび豊橋事業所にて実施し、血液に関するお話や施設見学を通じて、血液事業への理解を深めいただき、希望する小学生を対象に血液型判定体験も行い、親子で楽しく学べる内容となりました。



キャンペーン、イベント等の開催

様々なキャンペーンやイベントを開催し、献血の普及啓発を行っています。

特に、年間を通じて献血の確保が厳しくなりがちな夏季、冬季や、10代～30代の若い方々の節目の時期などにスペシャルイベントを開催し、献血啓発と安定的な輸血用血液の確保を図っています。愛知県学生献血連盟「Aichi Go」中心に学生ボランティアの方々の斬新なアイデアや実行力をいただきながら毎年多彩な取り組みを行い成果をあげています。

愛知県学生献血連盟



サマー献血キャンペーン

リモテラス：8月18日



全国学生クリスマス献血キャンペーン2024

IKEA 長久手：
12月15日



愛知県学生スプリング献血キャンペーン

イオンモール
ナゴヤドーム前：
3月16日



ラジオ生放送での献血PR



(CBC ラジオカー)



(エフエム愛知)

はたちの献血キャンペーン in エアポートウォーク

(エアポートウォーク：2月23日)



官庁街献血 (毎年8月、1月)

愛知県庁西庁舎で実施する官庁街献血は、3台の献血バスを3日間配車し、県庁・市役所を始め周辺官庁や来庁者の方など、安定的に多くの献血のご協力をいただいています。



10代夏の献血キャンペーン



卒業献血キャンペーン



献血ポスターコンペティション

将来の献血運動や輸血医療を支える若年層の方々への関心を高めていただくため、東海北陸ブロック内7県で毎年実施しています。



愛知県赤十字
血液センター所長賞

供給業務

Distribution Operations

愛知県赤十字血液センター及び豊橋事業所の2供給施設において、輸血用血液製剤毎に定められた温度や保管方法に基づき厳正に管理し、医療機関からの要請に対して年中無休・24時間体制で迅速かつ確実に輸血用血液製剤を供給しています。



1 受注業務

24時間体制で医療機関から受注をしています。現在は、WEB発注システムによる受注となっています。



2 出庫業務・外観確認

血液製剤に異常がないか最終チェックをします。



3 梱包作業

納品伝票と血液製剤の製造番号などの確認と、受注内容と納品伝票、血液製剤の照合確認をし、血液製剤ごとに製品温度に適した状態で梱包します。



4 搬送

愛知県赤十字血液センター管内で輸血を行う医療機関は約380機関。医療機関から「緊急」の要請があれば緊急走行で運びます。

広域需給体制に伴う県境を越える供給

Wide-area Supply and Demand Regime

2012(平成24)年4月1日から広域事業運営へ移行し、東海北陸ブロック血液センターが設置されました。それに伴い、供給エリア調査を行い、2013(平成25)年4月1日から西尾張地域の一部(一宮市・江南市・扶桑町・犬山市北部)を岐阜県赤十字血液センター、東濃地域(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市・中津川市)を愛知県赤十字血液センターから、供給を行うことに変更しました。これにより、対象地域の医療機関への血液製剤配送時間の短縮が可能となりました。



新たな血液製剤発注システムについて

従来の血液製剤発注方法である電話・FAXに代わる新たな方法としてインターネットで受発注する血液製剤発注システム(WEB発注システム)の導入を推進してきました。2024(令和6)年4月1日から、WEB発注への全面移行をしています。

★受発注時の過誤防止

電話での聞き間違いや、手書きや手入力による過誤などの防止に役立ちます。

★操作が4STEPで簡単

製剤選択 ⇒ 備考・抗原情報入力 ⇒ 納品日時・お届け先入力 ⇒ 発注確定

★まとめて発注

赤血球、血漿、血小板など異なる製剤でも、抗原や備考入力も可能。

★発注情報等のシステム管理が可能

医療機関での発注履歴やお届けした輸血用血液製剤情報等がシステムに保存され、ファイル抽出(CSVファイル)による閲覧が可能。



2024(令和6)年度 医薬情報活動 Medical Information activities

(1) 医療機関への情報提供

輸血用血液製剤に関する情報提供について、下表のとおり情報媒体を愛知県赤十字血液センター供給管内医療機関へ配付しました。また、輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会を行い、情報提供しました。

お知らせ

発行年月	内容
令和6年4月	「輸血用血液製剤添付文書集(2024年3月現在)電子版」のウェブサイトへの掲載のお知らせ
令和7年2月	細菌スクリーニングを導入した新規血小板製剤の製造販売承認取得のお知らせ

輸血情報

発行年月	内容
令和6年4月	輸血用血液製剤の薬価・医薬品コード・レセプト電算コード等について -令和6年4月現在-
令和6年6月	輸血等に関連する診療報酬について -令和6年6月現在-
令和6年8月	輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例 -2023年-
令和6年8月	赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用 -2023年-
令和6年12月	新型コロナウイルスの輸血感染リスクについて ~献血後情報に基づく調査から得られた知見~
令和7年2月	輸血関連循環過負荷(TACO)の危険因子について
令和7年3月	新たな安全対策の導入について ~血小板製剤への細菌スクリーニングの導入~

その他の情報媒体

発行年月	内容
令和6年12月	Transfusion Chain
令和7年2月	Transfusion Chain Vol.2

(2) 輸血副作用の情報収集

25施設 161件

(3) 遡及調査の実施

複数回献血者の感染症マーカーの陽転化 272件 / 献血後情報 23件



(4) 輸血業務担当者連絡会の開催

開催年月日	内容
令和6年9月21日 (オンライン開催)	「輸血医療の取り組みについて」(シンポジウム) 「学術情報・供給課 学術係からの情報提供」
令和7年3月15日 (ハイブリッド開催)	「輸血副作用について」(シンポジウム) 「学術情報・供給課 学術係からの情報提供」

(5) 医療機関での説明会の実施

- 血液製剤の取り扱い / 輸血副作用 / 輸血過誤について 25回
- 自己血輸血について 1回
- 血液製剤発注システムの操作説明 2回
- 輸血検査について 1回
- 説明会用動画の貸与 19件

(6) その他の活動

- 大学生、専門学校生への講義(輸血関連) ・大学(臨床検査技師・看護師・養護教諭) 6校
- 専門学校(臨床検査技師・臨床工学士・歯科衛生士) 3校

献血ルーム フォレスト
(則武新町出張所)

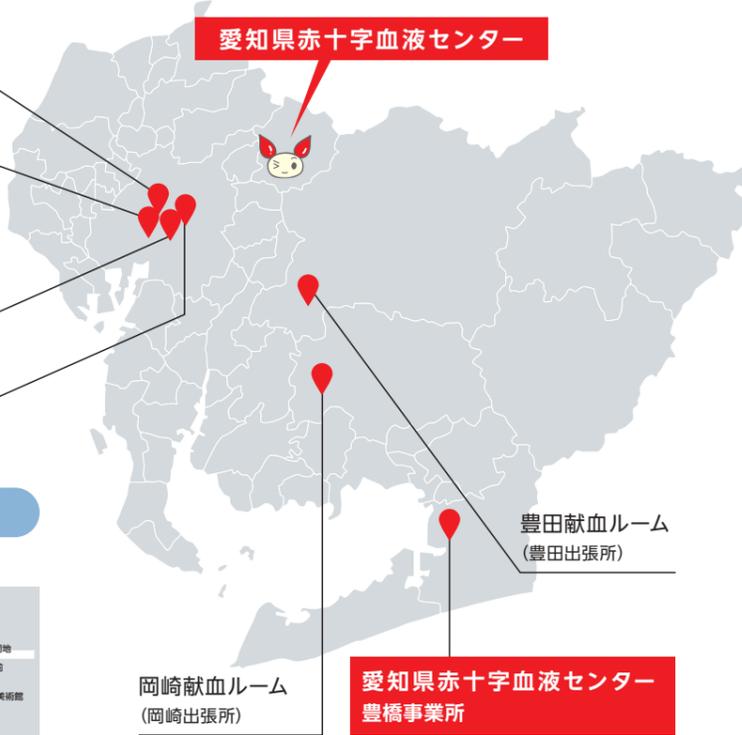
献血ルーム タワーズ20
(名古屋駅前出張所)

献血ルーム ゲートタワー26
(名古屋駅前出張所)

大須万松寺 献血ルーム
(大須出張所)

栄献血ルーム
(栄出張所)

愛知県赤十字血液センター



豊田献血ルーム
(豊田出張所)

岡崎献血ルーム
(岡崎出張所)

愛知県赤十字血液センター
豊橋事業所

愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 瀬戸市南山口町539番地3
TEL 0561-84-1131

[定休日]
日曜日、祝日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
9:00~12:00 / 13:00~16:45
成分献血
9:00~11:00 / 13:00~16:00



ベッド数：6床
開設日：S62.3



愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所

〒441-8083 豊橋市東脇三丁目4番地1
TEL 0532-32-1331

[定休日]
日曜日、祝日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
9:00~12:00 / 13:00~16:45
成分献血
9:00~11:00 / 13:00~16:00



ベッド数：9床
開設日：H2.3

献血ルーム フォレスト

〒451-0051 名古屋市西区則武新町三丁目1番17号
イオンモール Nagoya Noritake Garden 3階
TEL 052-462-8090

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
成分献血
10:00~17:00



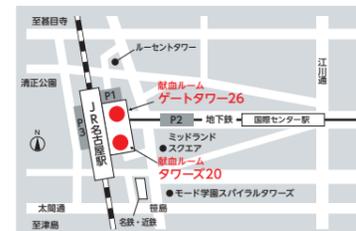
ベッド数：10床
面積：407.14㎡
開設日：R3.10

献血ルーム タワーズ20

〒450-6020 名古屋市中村区名駅一丁目1番4号
JRセントラルタワーズ20階
TEL 052-571-1002

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血 10:00~17:45
成分献血 10:00~17:00



ベッド数：28床 面積：951.84㎡
開設日：H23.10

献血ルーム ゲートタワー26

〒450-6626 名古屋市中村区名駅一丁目1番3号
JRゲートタワー26階
TEL 052-589-2229

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血 11:00~18:45
成分献血 11:00~18:00



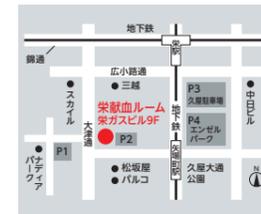
ベッド数：18床 面積：525.72㎡
開設日：H29.4

栄献血ルーム

〒460-0008 名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスビル9F
TEL 052-242-7030

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
10:00~17:45
成分献血
10:00~17:00



ベッド数：18床
面積：447㎡
開設日：H2.6

大須万松寺献血ルーム

〒460-0011 名古屋市中区大須3-30-40 万松寺ビル1F
TEL 052-251-7161

[定休日] 12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
11:00~13:00 / 14:00~18:45
(土・日・祝日) 11:00~18:45
成分献血(平日のみ)
11:00~12:00 / 14:00~18:00



ベッド数：5床
面積：179.76㎡
開設日：H18.10

豊田献血ルーム

〒471-0026 豊田市若宮町1-57-1 T-FACE A館9F
TEL 0565-35-4480

[定休日]
火曜日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
10:00~13:00 / 14:00~17:45
成分献血
10:00~12:00 / 14:00~17:00



ベッド数：10床
面積：246.095㎡
開設日：H9.4

岡崎献血ルーム

〒444-0864 岡崎市明大寺町寺東1-1 名鉄東岡崎駅南館5F
TEL 0564-52-1800

[定休日]
金曜日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
10:00~13:00 / 14:00~17:45
成分献血
10:00~12:00 / 14:00~17:00



ベッド数：9床
面積：263.56㎡
開設日：H15.5

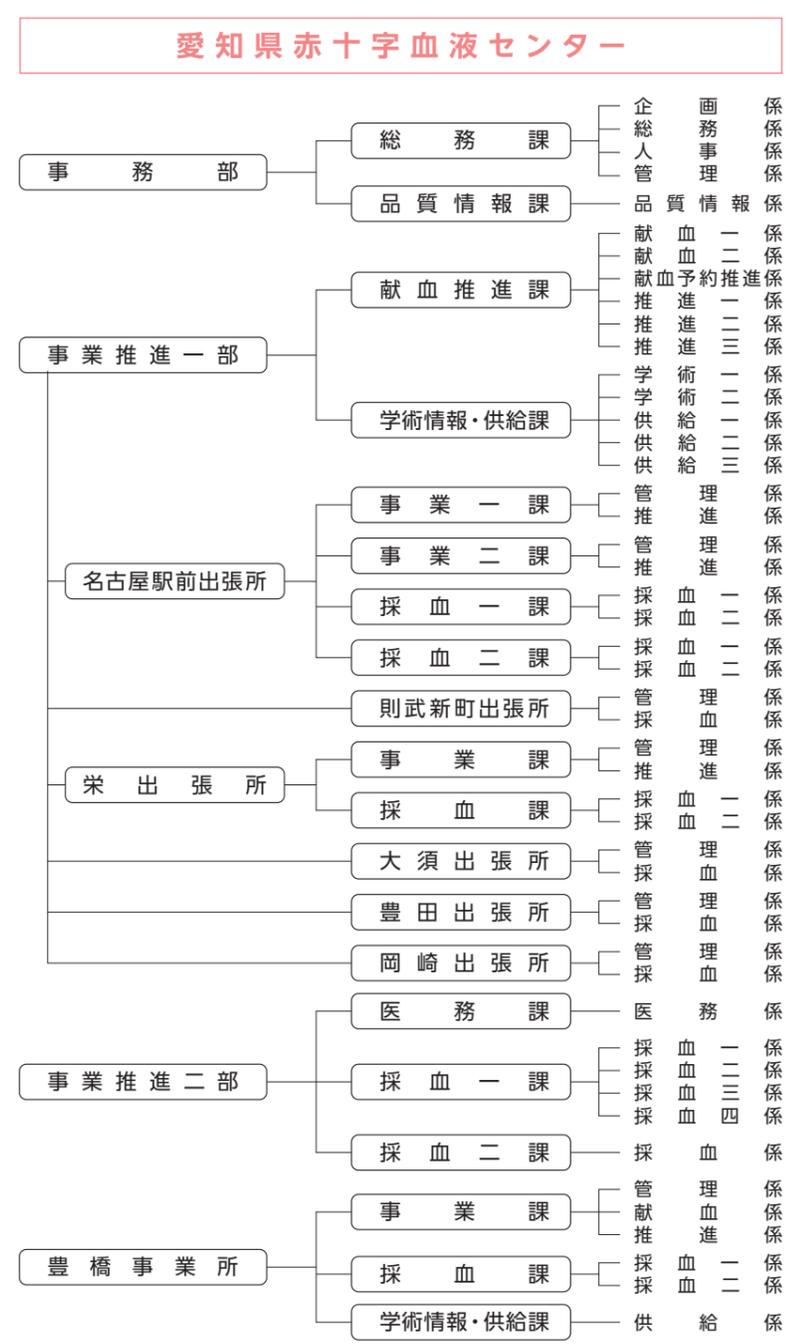
3 組織

Organization

血液事業をより円滑に推進するためには、その体制づくりが重要なポイントになります。血液事業に直接関係する体制や施設・設備を充実するとともに、それをサポートする間接部門も重要視し、組織としての総合的な力を発揮しながら血液事業の現在と将来を常に見つめています。

組織機構図 Organization Chart

(令和7年3月31日現在)



愛知県赤十字血液センター Japanese Red Cross Aichi Blood Center

施設 Facility

[所在地] 瀬戸市南山口町539番地3
 [敷地面積] 63,594.57㎡
 [建物] (本館・北館) 構造 / 鉄筋コンクリート一部鉄骨造
 地上4階・塔屋1階
 延面積 / 9,783.21㎡
 [付属建物] 大型車庫、合併処理槽機械室



車両台数 Number of Vehicle

献血バス	健診車	送迎車	広報車	献血運搬車	器材運搬車等	乗用車	計
8台	3台	4台	4台	28台	1台	12台	60台

(令和7年3月31日現在)

愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所 Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch

施設 Facility

[所在地] 豊橋市東脇三丁目4番地1
 [敷地面積] 3,014.07㎡
 [建物] 構造 / 鉄筋コンクリート造
 地上3階・塔屋1階
 延面積 / 1,694.00㎡
 [付属建物] 車庫

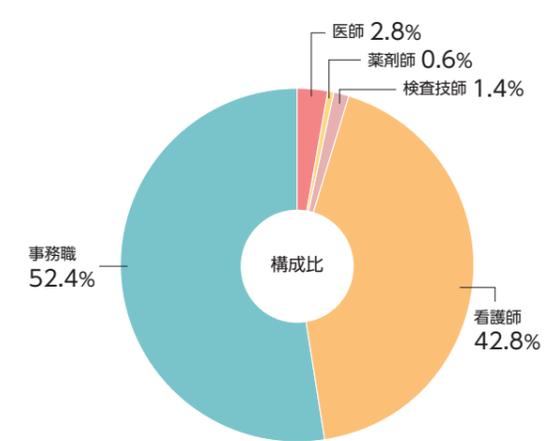


車両台数 Number of Vehicle

献血バス	健診車	送迎車	献血運搬車	乗用車	計
3台	1台	0台	5台	3台	12台

(令和7年3月31日現在)

愛知県赤十字血液センター職員数 Number of Staff



職種	人員	構成
医師	10人	2.8%
薬剤師	2人	0.6%
検査技師	5人	1.4%
看護師	152人	42.8%
事務職	186人	52.4%
計	355人	100%

* 非常勤職員含む

(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

4 活動実績

Actural Result

時代の変化とともに、血液事業も変化しています。
献血協力や医療機関のニーズに対応した活動を展開し、新しい歴史を積み重ねています。

新たな歴史を積み重ねて着実な歩み続ける

1962(昭和37)年の開設以来、輸血を必要とする患者さんのため時代とともに、着実な歩みが続いています。

沿革 History

	愛知の動き	全国の動き
1960	1962(昭和37)年10月 名古屋第一赤十字病院内に愛知県赤十字血液銀行を開設	1952(昭和27)年4月 日本赤十字社血液銀行東京業務所開設
	1964(昭和39)年12月 愛知県赤十字血液センターと名称を改める	1956(昭和31)年6月 「採血及び供血あっせん業取締法」公布
	1966(昭和41)年6月 採血出張所を開設(豊橋・岡崎・一宮・半田・瀬戸)	1960(昭和35)年8月 「薬事法」公布
	1968(昭和43)年1月 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・愛知県・三重県)の調整センターとして保存血液の需給調整を開始	1964(昭和39)年8月 「献血の推進について」閣議決定
11月 豊橋採血出張所を廃止し、愛知県赤十字血液センターの支所として新社屋を建設(豊橋市橋良町)、愛知県豊橋赤十字血液センターを開設、業務開始		
1969(昭和44)年8月 愛知県Rh(-)友の会を結成	1969(昭和44)年 民間商業血液銀行の買血による輸血用血液の供給中止	
1970	1970(昭和45)年4月 血液低比重者の諸検査開始	
	1971(昭和46)年3月 日赤愛知県支部との合同庁舎(名古屋市中区三の丸)に移転、業務開始	
	4月 支所として運営されてきた愛知県豊橋赤十字血液センターが豊橋赤十字血液センターとして独立	
	1972(昭和47)年3月 県内の預血業務が全廃され献血一本化となる	
	1973(昭和48)年4月 名古屋市内及び尾張部について輸血用血液の直配開始	
	1974(昭和49)年4月 血液代金自己負担金給付制度実施	1974(昭和49)年 民間商業血液銀行が預血制度廃止(献血100%体制確立)
1977(昭和52)年4月 一宮出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める	1975(昭和50)年 日本民間放送連盟主催「第1回はたちの献血」キャンペーン開始	
1979(昭和54)年4月 採血が瓶採血からビニールバック採血に切り替わる		
11月 開設以来、献血者150万人達成		
1980	1982(昭和57)年2月 分室を中区丸の内三丁目5番地10号(住友商事丸の内ビル9階)に新設	
	4月 全国一斉に献血手帳の様式一部改正(供給欄削除)献血者全員に血液型及び生化学検査結果の通知を開始	
	6月 半田出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める	1983(昭和58)年6月 日本赤十字社血漿分画事業開始
	1984(昭和59)年4月 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県)の基幹センターとして輸血用血液の需給調整及び技術指導開始	
1986(昭和61)年3月 事務所棟増築完成(豊橋赤十字血液センター)	1986(昭和61)年4月 「採血及び供血あっせん業取締法」一部改正に伴う新採血基準採用(400mL、成分採血導入)	
4月 名古屋市中区錦三丁目22番14号(マルニビル5階)に栄出張所(献血ルーム)を開設		
愛知県学生献血連盟発足		

	愛知の動き	全国の動き
1980	1986(昭和61)年10月 東三河地域に血小板等の特殊血液のみ直配実施	1986(昭和61)年 HIV抗体検査及びHTLV-I抗体検査を開始
	1987(昭和62)年1月 名古屋市熱田区一番に白鳥出張所(献血車基地)を開設	
	3月 瀬戸市南山口町に社屋新築移転、業務開始(愛知県赤十字血液センター)	
	4月 名古屋市中区三の丸旧社屋に三の丸出張所(献血ルーム)を開設	
	8月 西三河部への輸血用血液の直配開始	
	9月 第11回日本血液事業学会総会を愛知県勤労会館で開催	
	1988(昭和63)年7月 輸血用血液の全面直配開始(豊橋赤十字血液センター)	
	10月 名古屋市千種区星が丘町1502番地(第一星ヶ丘ビル2階)に星ヶ丘出張所(献血ルーム)を開設	
	1989(平成元)年1月 愛知県内の献血者延500万人達成	1989(平成元)年 HbC抗体、HCV抗体検査開始
	1990	1990(平成2)年3月 豊橋市東脇に社屋新築移転、業務開始(豊橋赤十字血液センター)
6月 名古屋市中区栄三丁目15番地33号(栄ガスビル9階)に栄出張所(献血ルーム)を移転開設		
1991(平成3)年3月 岡崎市康生通西2丁目20番地(シビコ5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を開設		
12月 血液センター組織に地方骨髄データセンター設置		
1992(平成4)年6月 名古屋市中村区名駅四丁目26番地7号(名駅UFビル5階)に名古屋駅前出張所(献血ルーム)を開設		1992(平成4)年1月 赤血球M・A・P「日赤」の製造承認許可
11月 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(愛知県赤十字血液センター)		
1993(平成5)年4月 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(豊橋赤十字血液センター)		1993(平成5)年8月 「自己血輸血協力要綱」作成
10月 三の丸出張所を名古屋市中区白壁一丁目50番地(愛知県白壁庁舎内)に白壁出張所(献血ルーム)として移転開設		
1994(平成6)年1月 自己血輸血協力開始		
3月 愛知県内血液センター需給計画委員会設置		
4月 輸血用血液への放射線照射協力開始(愛知県赤十字血液センター)		
9月 輸血用血液への放射線照射協力開始(豊橋赤十字血液センター)		
1995(平成7)年3月 第43回日本輸血学会総会を名古屋国際会議場で開催	1995(平成7)年4月 献血表彰制度の一部改正と献血換算回数変更	
1996(平成8)年10月 白壁出張所の検査部門を愛知県赤十字血液センターに集約	7月 統一した献血申込書及び問診票導入	
1997(平成9)年4月 東海北陸8県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)の基幹センターとして、輸血用血液の需給調整及び技術指導開始		
豊田市若宮町一丁目57番地1(A館T-FACE9階)に豊田出張所(献血ルーム)を開設		
7月 白壁出張所の供給部門を愛知県赤十字血液センターに集約		
10月 白壁出張所の製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約	1998(平成10)年6月 放射線照射輸血用血液が国に認可され供給開始	
1999(平成11)年4月 県内血液センター一体運営開始。これに伴い、豊橋赤十字血液センターを愛知県豊橋赤十字血液センターに改称し、検査業務を愛知センターに集約	1999(平成11)年4月 血小板成分献血を除き、献血年齢の上限が満64歳から満69歳に引上げ	
刈谷市南桜町一丁目73番地(OTAビル4階)に刈谷出張所(献血ルーム)を開設	5月 献血者情報の全国一元管理システムが稼働	
8月 名古屋市熱田区金山町1-202(東和ビル「メガネプラザビル」7階)に金山出張所(献血ルーム)を開設	10月 HTLV-I抗体検査結果が異常な場合、希望者への通知を開始。これに伴い献血申込書の内容一部変更	
11月 愛知県赤十字血液センター北館完成	核酸増幅検査(NAT)実施の輸血用血液を供給開始	

	愛知の動き	全国の動き
2000	2000(平成12)年3月 愛知県赤十字血液センター本館増改築工事完成	2002(平成14)年4月 HCV抗体陽性者への通知基準の変更
	2001(平成13)年2月 名古屋市中村区名駅三丁目28番地12号(大名古屋ビルヂング3階)に名古屋駅前出張所(大名古屋ビル献血ルーム)を移転開設	7月 薬事法及び採血及び供血あつせん業取締法の一部を改正する法律の公布「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)公布
	9月 第25回日本血液事業学会総会を名古屋国際会議場で開催	8月 有償採血の禁止
	2003(平成15)年2月 愛知県内の献血者延1,000万人達成	2003(平成15)年7月 「薬事法」の一部改正及び「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)施行
	3月 星ヶ丘出張所(献血ルーム)閉所	2004(平成16)年1月 安全対策に対する日本赤十字社の取組み(8項目)
	5月 岡崎市明大寺町字寺東1-1(名鉄東岡崎駅南館5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を移転開設	10月 献血受付時の本人確認実施開始
	2004(平成16)年6月 第二次全国統一システム稼働	2005(平成17)年4月 改正薬事法施行
	2005(平成17)年1月 新鮮凍結血漿貯留保管用冷凍室完成	6月 問診による欧州渡航歴の献血制限開始
	6月 愛知県赤十字血液センター献血推進本部設置	7月 6カ月以上貯留保管した新鮮凍結血漿「日赤」(FFP)の供給開始
	10月 白鳥出張所(献血バス基地)を閉所し、愛知県赤十字血液センターに移動採血部門を集約 愛知県豊橋赤十字血液センターの製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約	2006(平成18)年3月 タッチパネル方式による問診回答方式の導入 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤製造開始
	2006(平成18)年3月 複数回献血クラブ「四季桜の会」の設立	8月 人免疫グロブリン製剤「日赤ポリグロピン」販売開始
	9月 白壁出張所(献血ルーム)の閉所	9月 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤出庫開始
	10月 名古屋市中区大須三丁目30-40(大須万松寺ビル1階)に大須出張所(献血ルーム)を開設 岐阜県赤十字血液センターとの検査業務集約 成分採血(血小板)の初流血除去開始	10月 献血手帳の磁気カード化開始
	2007(平成19)年2月 全血採血の初流血除去開始 静岡県赤十字血液センターとの検査業務集約	2007(平成19)年1月 全血採血由来保存前白血球除去製剤製造開始
	5月 三重県赤十字血液センターとの検査業務集約	11月 血小板製剤の有効期間(採血後4日間)変更
2008(平成20)年1月 成分採血(血漿)の初流血除去開始	2008(平成20)年7月 初流血除去を実施した成分採血由来製剤新鮮凍結血漿「日赤」(FFP-5)の供給開始	
6月 岐阜県赤十字血液センターとの製剤業務集約	2009(平成21)年3月 糖尿病関連の検査(グリコアルブミン検査)開始	
8月 製剤ラベルの変更	10月 血漿分画製剤の販売名、包装表示等の変更	
2009(平成21)年4月 三重県赤十字血液センターとの製剤業務集約		
11月 第33回日本血液事業学会総会(第20回国際輸血学会アジア部会併設)を名古屋国際会議場で開催		
2010	2010(平成22)年5月 第58回日本輸血・細胞治療学会総会を名古屋国際会議場で開催	2010(平成22)年1月 英国滞在歴に関する献血制限の緩和
		2月 販売名変更代替新規承認品目 濃厚血小板-LR「日赤」・濃厚血小板HLA-LR「日赤」・照射濃厚血小板-LR「日赤」・照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」の製造・供給開始
		12月 血液型、生化学検査及び白血球計数検査成績の通知対象者の拡充
	2011(平成23)年10月 JRセントラルタワーズ20階に名古屋駅前出張所を移転開設	2011(平成23)年4月 採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ。男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ)
	11月 愛知県赤十字血液センター製造棟完成	2014(平成26)年6月 血液事業情報システム導入
	2012(平成24)年3月 静岡県赤十字血液センターとの製剤業務集約	8月 特殊製剤国内自給向上対策事業の実施 個別核酸増幅検査(NAT)の導入
	4月 広域事業運営体制開始 製造棟施設が東海北陸ブロック血液センターとして業務開始 愛知県豊橋赤十字血液センターを愛知県赤十字血液センター豊橋出張所に改める	2015(平成27)年3月 日本赤十字社による血漿分画製剤の販売終了
	2013(平成25)年4月 県境を越える供給エリアの変更開始(岐阜県東濃地域⇄愛知県西尾張地域)	2016(平成28)年4月 ALT検査による製品除外基準の変更
	2014(平成26)年4月 豊橋出張所を豊橋事業所に改める	9月 照射洗浄血小板-LR「日赤」・照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」の供給開始
	7月 第50回献血運動推進全国大会を愛知芸術文化センターで開催	2018(平成30)年9月 新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長
2017(平成27)年4月 金山出張所と刈谷出張所の閉所 JRゲートタワー26階に名古屋駅前出張所を拡張	10月 複数回献血クラブの会員サイトを一新し、愛称を「ラブラッド」に統一して運用開始	
2019(令和元)年5月 愛知県Rh(-)友の会解散		

	愛知の動き	全国の動き
2020	2020(令和2)年8月 愛知県内の献血者延1,500万人達成	2020(令和2)年8月 全国一斉にE型肝炎検査(HEV NAT)を導入
		9月 血液法改正に伴い健康診断及び問診の方法が定められ、健康診断基準として血圧、脈拍、体温基準の明示 全血採血の採血前検査方法を指先穿刺に変更 ※献血ルームは順次
		11月 献血者顕彰規程を改正し、記念品贈呈を行う献血回数や記念品の選択制を導入 問診における癌の問診判断基準を緩和
		2021(令和3)年5月 新型コロナウイルスのmRNAワクチンを含むRNAワクチンを接種された方の献血制限期間の明示
		9月 新型コロナウイルス感染症の既往者(または検査陽性者)についての献血制限期間の明示
	2021(令和3)年10月 名古屋西区則武新町3-1-17(イオンモールNagoya Noritake Garden 3階)に則武新町出張所(献血ルーム)を開設	11月 国民の健康増進に有益な情報として還元することを目的として、平成28年以降に採血された献血者に関する血液検査値の集計を行い、ホームページにおいて情報公開を開始 HTLV-1と梅毒の偽陽性の方への通知を開始
		2022(令和4)年2月 献血ルームを含め全ての施設で全血献血の採血前検査を指先穿刺に変更
	2022(令和4)年4月 献血推進部門における業務管理体制の適正化を目的として、名古屋駅地区及び栄地区に管理担当者(エリアマネージャー)を配置	4月 新型コロナウイルスのウイルスベクターワクチンを接種された方の献血制限期間の明示
		7月 NAT偽陽性の方への通知を開始 エムボックスウイルス感染症に対する安全対策として、感染された方等からの献血制限を実施
		9月 ラブラッドのアプリがリリースされ、アプリ版献血カード、事前Web問診回答機能、プレ会員の導入を開始
		11月 新型コロナウイルスの組み換えたんぱく質ワクチン及び不活化ワクチン等を接種された方の献血制限期間の明示
		2023(令和5)年3月 有効期間を「採血後28日間」に延長した赤血球製剤の供給開始
		5月 全献血希望者に対して体重測定を実施する運用を開始(献血ルームのみ先行実施、移動採血車等は9月開始) 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に変更されたことに伴い、血液事業における各種対応を変更
		12月 新型コロナウイルス感染症の既往者の献血制限期間が4週間から2週間に変更
		2024(令和6)年2月 海外の医療ニーズに応えるため、国内の製薬企業が製造する血漿分画製剤を、国内自給と安定供給に支障がない範囲で海外輸出することに対する同意取得を開始
	10月 新型コロナワクチンの定期接種において承認されたレプリコンワクチンを接種された方の献血制限期間の明示	

血液事業に多くの功績があった個人・団体を表彰

毎年献血に多大なご協力をいただいたみなさまに感謝の気持ちを込めて表彰を行っています。
2024(令和6)年度も多くの個人・団体のみなさまにご協力をいただき、功勞表彰を授与させていただきました。
血液事業は、こうした多くの方々に支えられています。(順不同・敬称略)

献血功勞表彰 Recognition

厚生労働大臣表彰状

4団体

- 株式会社新来島豊橋造船
- 東海市職員互助会
- 稲沢緑ライオンズクラブ
- 村田機械株式会社 犬山事業所

厚生労働大臣感謝状

12団体

- 蒲郡市民病院
- 愛知県豊橋警察署
- 蒲郡ライオンズクラブ
- 医療法人 偕行会 名古屋共立病院
- 株式会社新日
- 愛西市
- 株式会社イトーヨーカ堂 知多店
- 愛知県警察本部警備部 機動隊
- 春日井中央ライオンズクラブ
- 豊田合成株式会社 西溝口工場
- 豊田合成株式会社 平和町工場
- 長久手市商工会

愛知県知事感謝状

300回献血者 45名

献血協力団体 8団体

- NSD株式会社 豊橋支店
- 蒲郡市保健医療センター
- 全トヨタ労働組合連合会 愛知地方協議会
- 日本発条株式会社 豊田工場
- 株式会社バックタケヤマ

- 株式会社コデラダイナックス
- 江南市水道工事店協同組合
- 愛三工業株式会社 豊田工場

献血功勞団体

3団体

- イオンリテール株式会社 イオン豊橋南店
- イオンモール株式会社 イオンモール熱田
- イオンモール株式会社 イオンモール名古屋茶屋

日本赤十字社表彰

日本赤十字社社長感謝状(30年以上) 10団体

- 中野工業株式会社
- 特定医療法人 共和会
- 東海プラントエンジニアリング株式会社
- 日本福祉大学 学生会
- 豊橋市上下水道局
- 愛知県理容生活衛生同業組合 守山理容献血会
- 株式会社ダイフク 小牧事業所
- エナジーサポート株式会社 献血会
- 日本特殊陶業株式会社
- 大府市献血推進協議会

金色有功章(献血100回以上) 425名

金色有功章(20年以上) 13団体

- 潮干会
- 宗教法人 真如苑 中京本部
- 株式会社協和コーポレーション
- 医療法人 大医会 日進おりど病院
- 株式会社タンガロイ 名古屋工場
- 林テレンプ株式会社

- 尾三消防組合
- 株式会社フィールコーポレーション フィール稲沢店
- イオンリテール株式会社 イオン豊川開運通店
- 株式会社チームエルエル
- UDリテール株式会社 MEGA ドン・キホーテ UNY 大口店
- 愛知中央ライオンズクラブ
- 丹羽ライオンズクラブ

銀色有功章(献血70回以上) 692名

銀色有功章(15年以上) 11団体

- 株式会社SUBARU 航空宇宙カンパニー 半田地区
- 豊橋技術科学大学 豊橋献血同好会
- 株式会社旭工業所
- 愛知県安城警察署
- トーシンテック株式会社
- 河原紙器株式会社
- 株式会社ジーエスエレテック
- 矢崎総業株式会社 中部カスタマーズセンター
- イオンタウン株式会社 イオンタウン弥富
- イオンモール株式会社 mozo ワンダーシティ
- 西尾ニュータウン開発株式会社

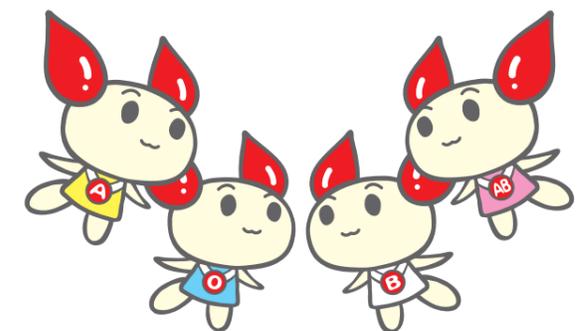
支部長感謝状(金枠10年以上) 11団体

- 株式会社TDEC
- 株式会社アイシン 半田電子工場
- TOTO サニテクノ株式会社 愛知工場
- 株式会社タチ製作所
- 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社 名古屋支店
- 富士フィルム和光純薬株式会社 愛知工場

- 岡崎信用金庫
- 中部管区警察学校
- 株式会社ヨシヅヤ 津島本店
- 大府市 旭献血会
- 株式会社カインズ 常滑店

支部長感謝状(銀枠5年以上) 14団体

- 大津鉄工株式会社・株式会社三愛
- 愛知県知多建設事務所
- コサカ精機株式会社
- 常滑市消防本部
- 株式会社坂角総本舗
- 星城大学
- 名古屋市中土木事務所
- 名古屋学芸大学 看護学部
- 名古屋タクシー協会
- マルマン商事株式会社
- 西尾市立看護専門学校
- 有限会社ベルエキップ
- 愛知県立瀬戸つばき特別支援学校
- ホリデイ・スクエア豊橋

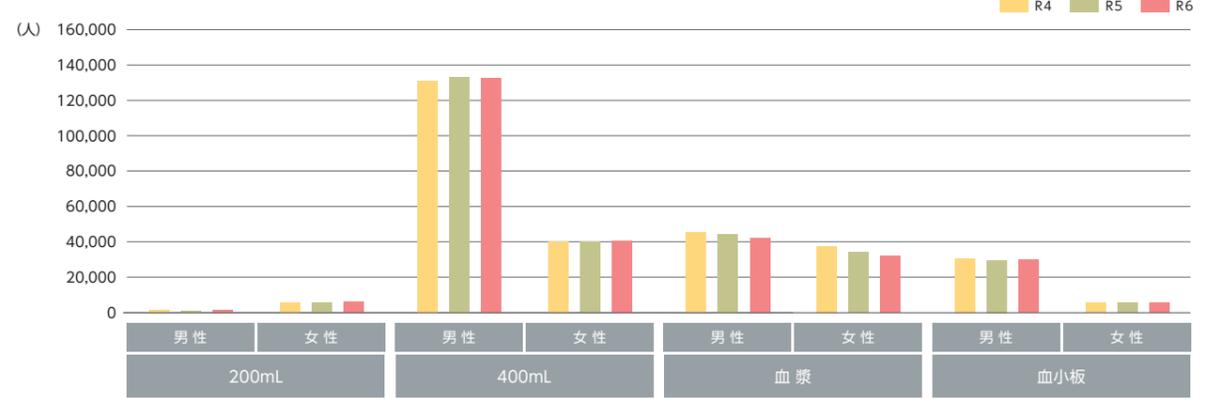


5 統計資料

Statistical Data

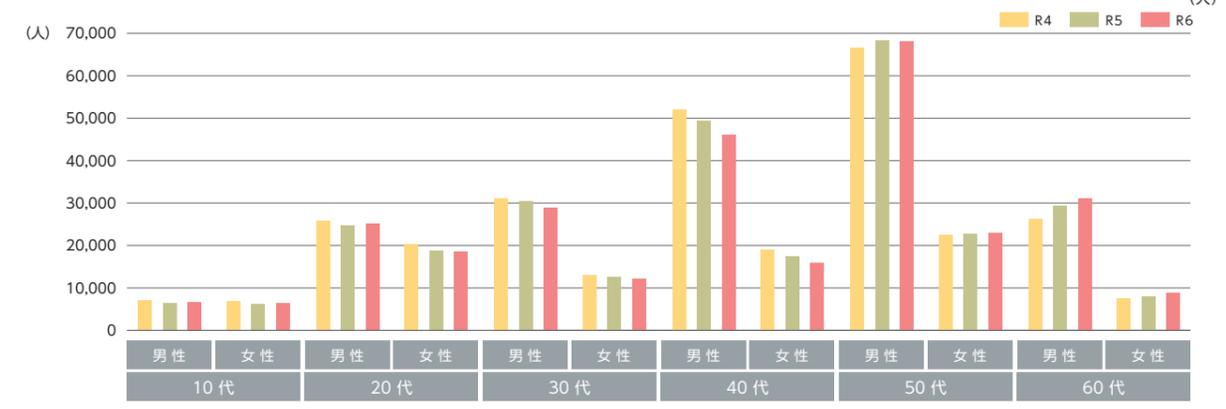
献血種別の推移 Blood Donation Type of Transition

	200mL		400mL		血漿		血小板		合計						
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性					
令和6年度	7,708	1,306	6,402	173,541	132,633	40,908	74,373	42,320	32,053	35,353	29,834	5,519	290,975	206,093	84,882
令和5年度	6,966	1,214	5,752	173,369	133,372	39,997	78,877	44,533	34,344	35,270	29,742	5,528	294,482	208,861	85,621
令和4年度	7,320	1,479	5,841	171,444	131,280	40,164	83,074	45,467	37,607	36,452	30,777	5,675	298,290	209,003	89,287

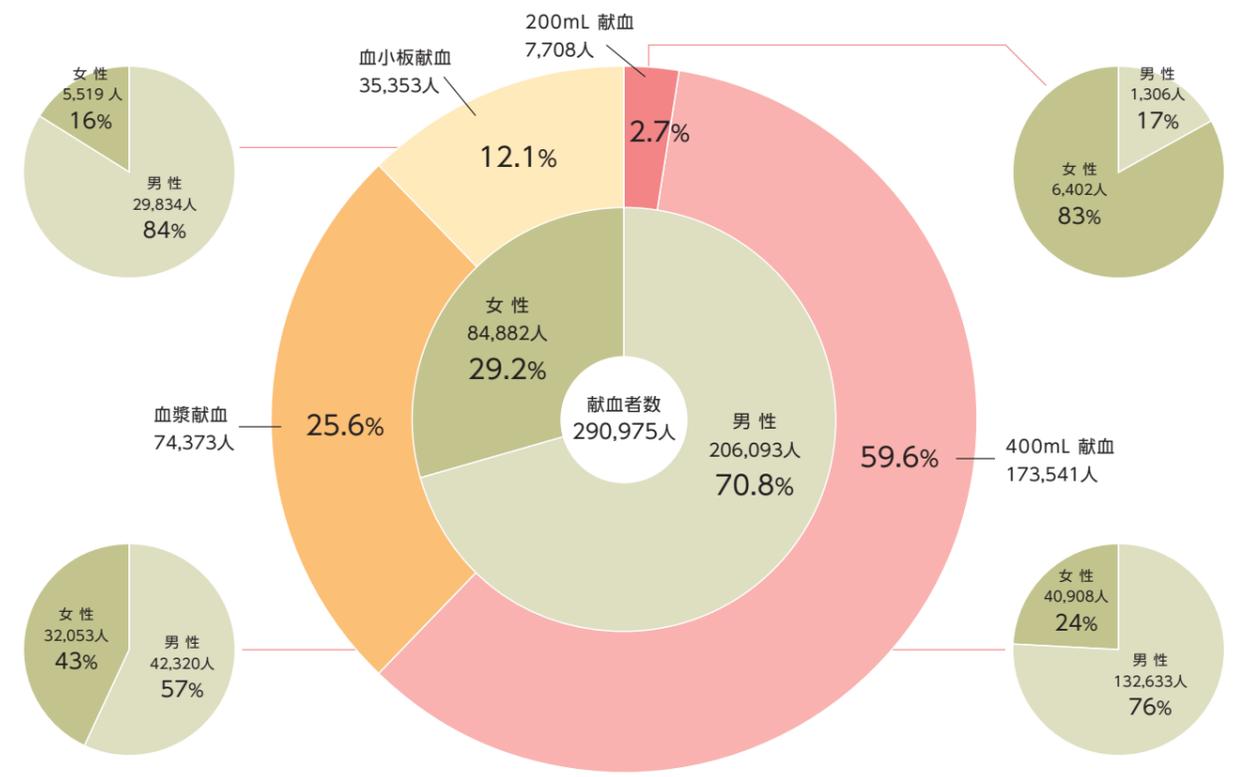


年代別の推移 Transition by Age Group

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
令和6年度	6,752	6,377	25,070	18,463	28,877	12,079	46,046	15,943	68,189	23,068	31,159	8,952	206,093	84,882
令和5年度	6,505	6,195	24,807	18,680	30,380	12,611	49,415	17,447	68,330	22,679	29,424	8,009	208,861	85,621
令和4年度	7,051	6,934	25,869	20,362	31,153	13,147	52,075	18,902	66,640	22,453	26,215	7,489	209,003	89,287

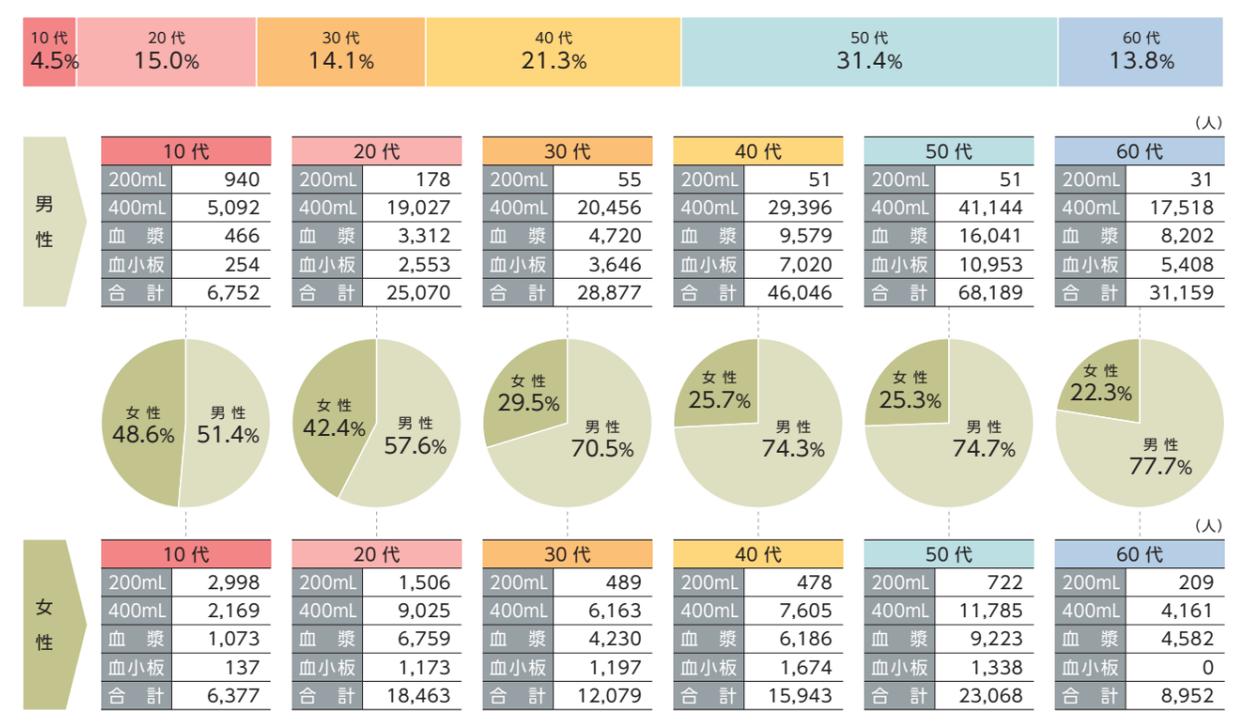


献血種別献血者数 Blood Donation Type Number of Blood Donors

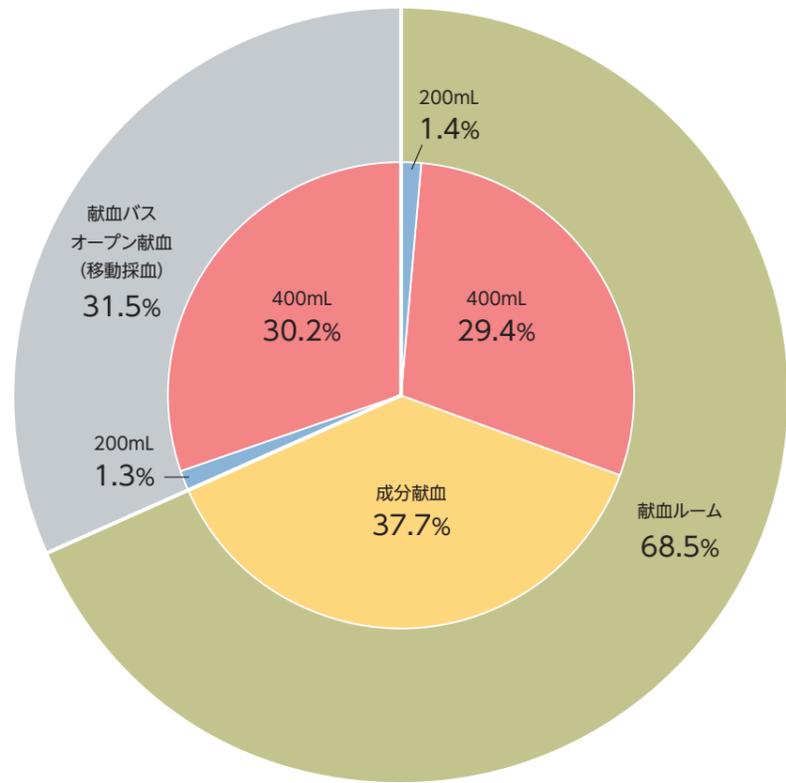


(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

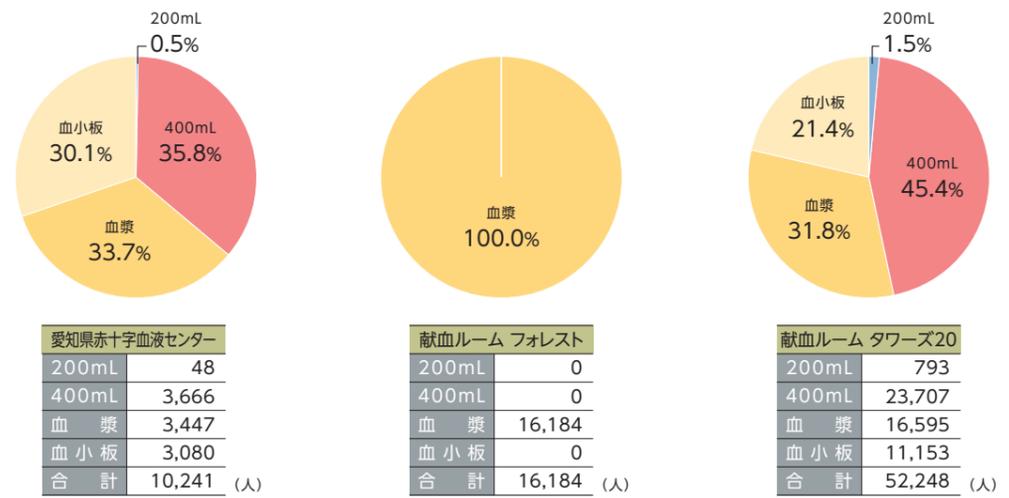
年代別献血者数 Blood Donations by Age Group



献血ルーム&献血バス・オープン献血の割合 Blood Donation Room & Bloodmobile Open Blood Donation Percentage

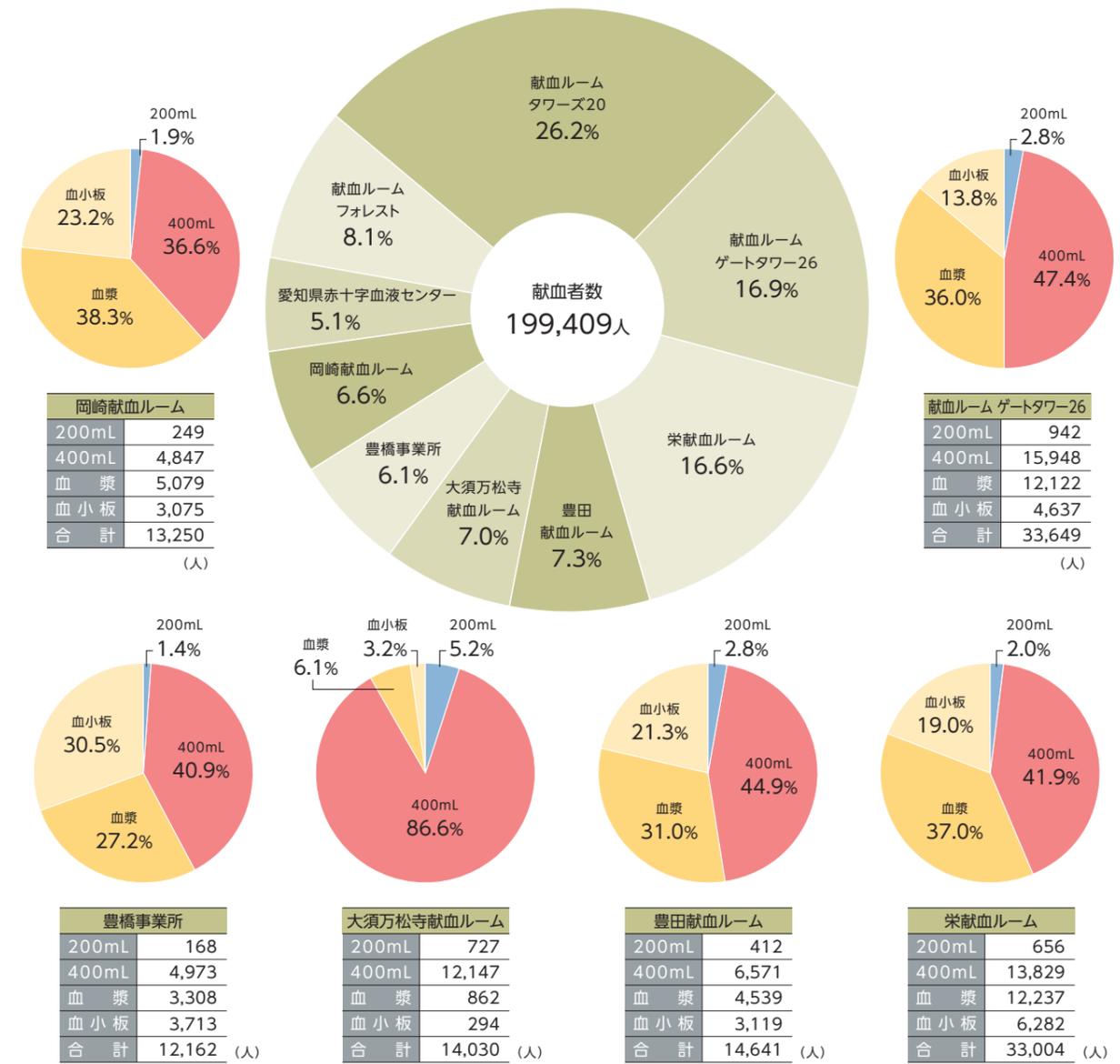


献血ルーム別献血者数 Number of Blood Donors by Blood Donation Rooms



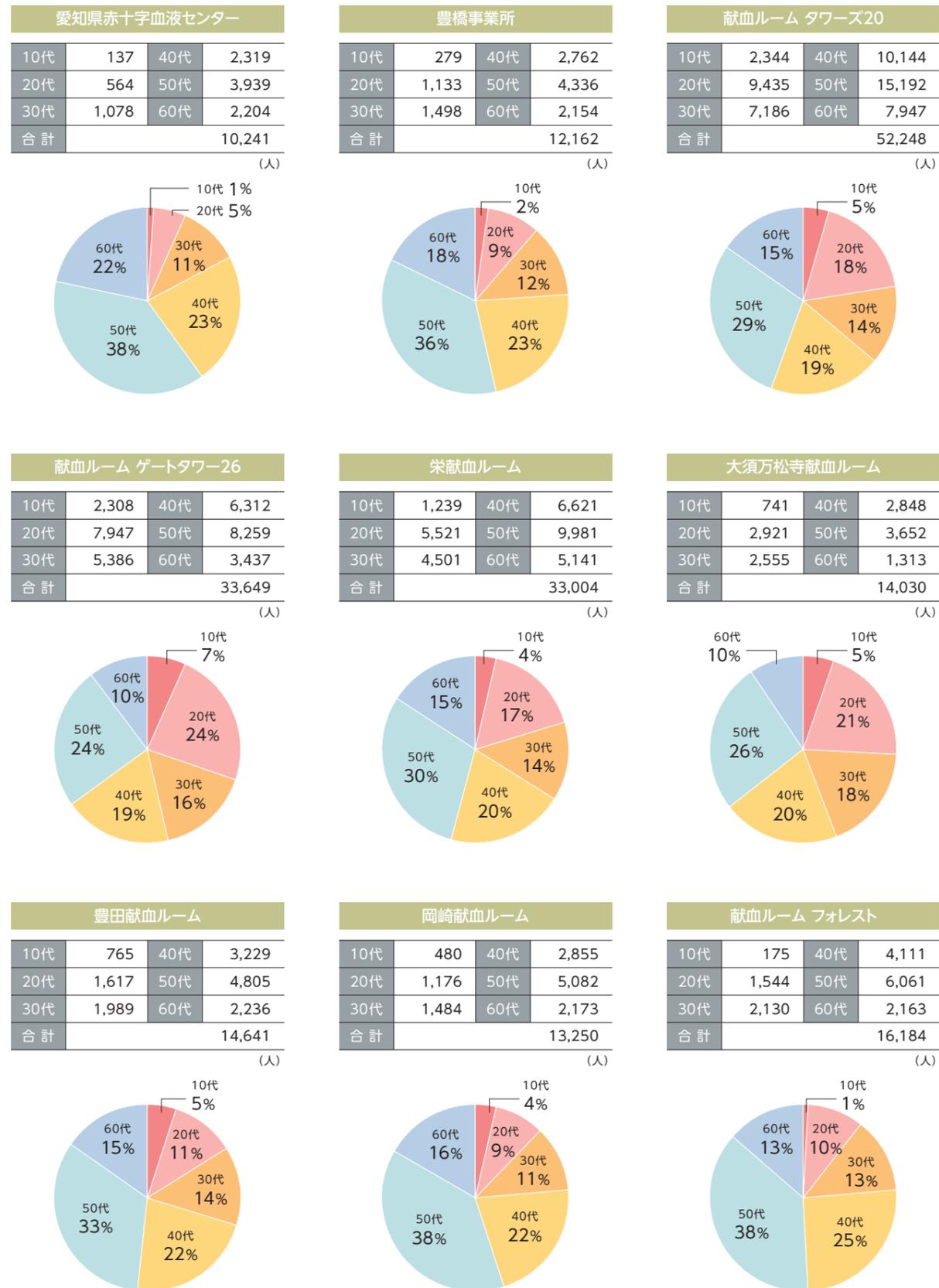
施設別採血種別献血者数の推移 Changes in the Number of Blood Donors by Site

献血の種類	年度	愛知県赤十字血液センター	豊橋事業所	献血ルーム タワーズ20	献血ルーム ゲートタワー26	栄献血ルーム	献血ルーム フォレスト	大須万松寺献血ルーム	豊田献血ルーム	岡崎献血ルーム	移動献血バス+オープン
		合計									
200mL	令和6年度	48	168	793	942	656	0	727	412	249	3,713
	令和5年度	43	176	746	695	539	20	443	375	323	3,606
	令和4年度	38	124	794	570	442	36	428	402	402	4,084
400mL	令和6年度	3,666	4,973	23,707	15,948	13,829	0	12,147	6,571	4,847	87,853
	令和5年度	3,794	4,880	25,022	14,118	13,632	37	11,969	6,803	4,695	88,419
	令和4年度	3,602	4,835	24,186	14,762	11,550	126	12,129	6,825	4,453	88,976
血漿	令和6年度	3,447	3,308	16,595	12,122	12,237	16,184	862	4,539	5,079	0
	令和5年度	3,538	3,365	18,629	14,008	12,147	15,669	1,387	4,772	5,362	0
	令和4年度	3,770	3,449	22,512	14,012	13,388	13,989	1,473	5,240	5,241	0
血小板	令和6年度	3,080	3,713	11,153	4,637	6,282	0	294	3,119	3,075	0
	令和5年度	3,100	3,683	10,370	3,975	6,656	0	453	3,396	3,637	0
	令和4年度	3,194	3,682	10,578	4,599	6,185	0	795	3,793	3,626	0
合計	令和6年度	10,241	12,162	52,248	33,649	33,004	16,184	14,030	14,641	13,250	91,566
	令和5年度	10,475	12,104	54,767	32,796	32,974	15,726	14,252	15,346	14,017	92,025
	令和4年度	10,604	12,090	58,070	33,943	31,565	14,151	14,825	16,260	13,722	93,060



(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

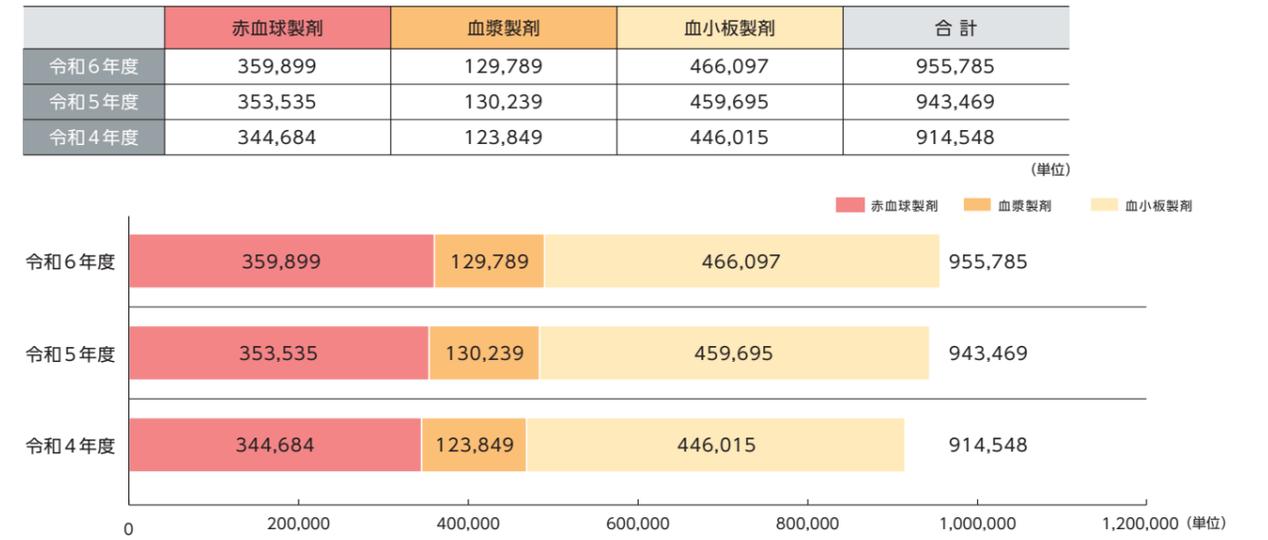
献血ルーム別年代別献血者数 Number of Blood Donors by Age Group



(注) 構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

供給状況 Number of Distribution of Blood Products

供給単位の推移(愛知県)



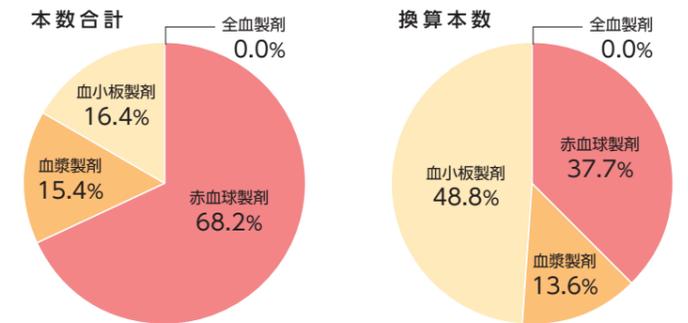
令和6年度 供給実績 Supply Results

愛知県内の供給実績と、愛知県赤十字血液センターからの供給実績 ※広域需給体制に伴う県境を越える供給エリアについては8ページ参照

愛知県内の供給実績

	本数合計	換算本数 [単位: 200mL換算]
全血製剤	0	0
赤血球製剤	184,050	359,899
血漿製剤	41,461	129,789
血小板製剤	44,271	466,097
合計	269,782	955,785

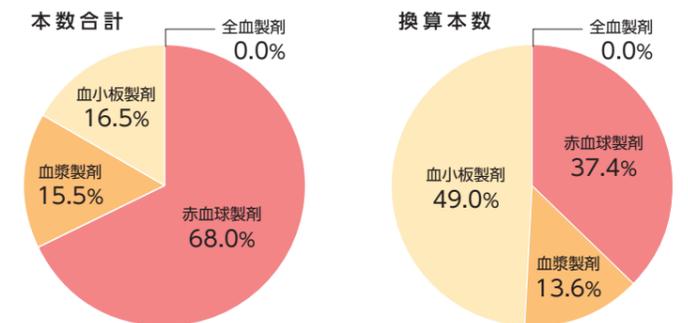
(単位: 本)



愛知県赤十字血液センターからの供給実績

	本数合計	換算本数 [単位: 200mL換算]
全血製剤	0	0
赤血球製剤	173,543	339,590
血漿製剤	39,555	123,880
血小板製剤	42,007	444,577
合計	255,105	908,047

(単位: 本)



- 単位換算数: 赤血球製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位として換算したもの。
- 血漿製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位、成分献血由来を4単位として換算したもの。
- 血小板製剤は規格により、1単位、2単位、5単位、10単位、15単位、20単位として換算したもの。

(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

Business Overview

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER

[発行所]

愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 愛知県瀬戸市南山口町539-3 TEL 0561-84-1131

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER

539-3 Minamiyamaguchi-cho Seto,AICHI JAPAN zip489-8555

<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/>



環境にやさしい用紙と
植物油インキを使用しています。

令和7年8月31日発行